

# 先週の授業の感想文から(1)

- Q:署名にメールアドレスを書いたら、その下に赤い線が出てしまった。
- ヒント:自分自身にメールを出してみて、受け取ったメールの署名部分にマウスを当ててクリックしてみると、赤い線の意味がわかる。

# 先週の授業の感想文から(2)

- Q:多言語を使用したいが、使い方がわからない
- A:システム環境設定を使います。
  - システム環境設定->言語環境....入力メニューから言語を指定し、キーボードビューアをチェック
  - テキストエディットを起動し、入力モードを選択しながら、キーボードビューアを参考にしてキー入力する。(キーボードビューアを表示しないと、どのキーにどの文字が割り当てられているかが分からない。慣れてきたらキーボードビューアの表示は不要になるだろう)

# 演習の準備(1)

- この授業のホームページから必要なファイルをダウンロードする
  - \*.pdf この資料のpdfファイル
  - sample.jpg 圧縮形式の画像ファイル（じえーぺぐ）
  - sample.bmp 圧縮されていない画像ファイル（ビットマップ）
  - ダウンロードに成功したら、それぞれのファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトウェアを起動し、内容を確認する。

# 演習の準備(2)

## ■ テキストファイル「zenkaku.txt」の作成

1. テキストエディットを起動する
2. 「あ」のモードで以下の文字列を入力する  
a b c d e f g
3. ファイル->保存とメニューを選択して、ファイル名（半角英数字で！）を指定する。（拡張子を表示させる設定で！）

## ■ テキストファイル「hankaku.txt」の作成

1. ファイル->新規とメニューを選択して、新しいウィンドウを開く。
2. 「A」のモードで以下の文字列を入力する  
abcdefg
3. ファイル->保存とメニューを選択して、ファイル名（半角英数字で！）を指定する。

# 演習 1 : 2つのOSを使ってみる

- eccで使用できるOS(Operating System)は3つある。
  - Mac OS X(マックオーエステン)
  - Windows
  - unix(ユニックス)
- それぞれのOSを起動してみよう
- 今回はunixを使ってみる

# 演習 2:ターミナルを使う

- ターミナルはunixというOSへの指示（コマンドと呼ぶ）を出すソフトウェアである
- 以下の用語を理解しよう
  - コマンド...OSへの指示
  - プロンプト...コマンド入力待ちであることを表す文字列
  - ホームディレクトリ...自分のファイルを保存する最上位のディレクトリ（ディレクトリについては次週）

# 演習3: コマンドを入力する

- プロンプトが表示されたら、ファイルの一覧を表示するためのコマンドを入力してみよう。
  - `ls`
  - `cd Documents`
  - `ls`
- ファイルの内容を表示させるためのコマンドを入力する。
  - `more hankaku.txt`
- 同じことを `zenkaku.txt` についてやってみる。結果はどうなるか？
- 同じ `abcdefg` でも、全角と半角とでは、コンピュータに格納されている文字列は異なることを確認しておこう。

# 演習4:ファイルの大きさを確認する

- メールにファイルを添付するとき、巨大なファイルは、あまり歓迎されない。
- ファイルを圧縮させるコマンドは
  - `gzip` **ファイル名.拡張子**
  - 例 `gzip sample.bmp`
    - 圧縮されたファイル名は、ファイルの拡張子の後ろにさらに拡張子**gz**が付け加えられたものとなる。
  - `ls -l`
    - このコマンドでファイルの大きさを確認できる
- 圧縮されたファイル名を**gunzip**のパラメータとして与えれば、ファイルを解凍することができる。実行後、ファイルの確認を忘れずに。
  - `gunzip` **ファイル名.拡張子.gz**
  - 例 `gunzip sample.bmp.gz`
  - `ls -l`



# 演習5:メールへのファイルの添付

- unixとMac OS Xとの違いについて、各々の利点をテキストエディットで解説する
- Apple Mailを起動
- 添付と書かれたアイコンをクリック
- テキストエディットで作成したレポートのファイルを選択
- メールの宛先(前回とは異なるので注意！)
  - `getsu2@itl.k.u-tokyo.ac.jp`